

## 超長期の展望の提示(環境基本計画の記述)

2050年 = 世界人口90億人、中印の台頭など世界経済成長の中心となるアジア...  
地球環境は現在でも深刻な状況。  
今の趨勢のままでは、環境・資源制約など多くの問題に直面

### 目標

2050年頃の世界、アジア及び日本の環境を見通した超長期の展望を提示  
超長期の将来を見据え、環境保全に関する取組の方向付けや  
社会システムの見直しがなされる社会を目指す。

### 施策の基本的方向

- (1) 複数シナリオの提示
- (2) 望ましい将来像とバックカスティングという考え方  
望ましい将来像を描き、目標時期までに実現するための段階的経路を検討
- (3) 対応策・政策手法の検討  
技術の大きな転換、制度的対応、ライフスタイルなど需要面の変化  
社会参加・政策過程の変化
- (4) 国際的発信

### 主要な論点

温暖化効果ガスの大幅な削減 脱温暖化社会とは？  
顕在化する温暖化の影響 どのように対応？  
深刻化が予想されるアジア地域の環境問題 どのように持続可能な開発を進めるか？  
地域的危機 どのようにかかわっていくか？  
本格化する環境・資源制約 循環型社会をどう形成？  
国内からアジア太平洋地域の生物多様性をいかに確保するか  
国内の少子高齢化・人口減少 社会資本と二次的自然の維持形成のあり方  
自然資源の国際的需給が将来逼迫 第一次産業をどのように活性化させていくか  
将来への「負の遺産問題」への対応  
環境リスクの早期発見・早期対応のための取組  
高齢者の社会参加を含むライフスタイル・地域社会づくり  
先進的な技術・研究・経験を踏まえた世界への貢献

## 超長期ビジョン検討体制、スケジュール

### 検討体制

総合環境政策局長委嘱により、以下の検討会、会合を本年6月8日に設置し、環境省において検討を開始。

- ・超長期ビジョン検討会(専門的見地より検討)
- ・超長期ビジョン検討アドバイザリー・グループ会合(総合的見地より検討)

### スケジュール

平成18年6月8日	超長期ビジョン検討会及び 超長期ビジョン検討アドバイザリーグループ会合を設置
年内～年明け	ビジョンに関する定性的な検討
平成19年2月頃	中間とりまとめ(ビジョンのたたき台)  ビジョンに関する定量的な検討
平成19年夏～秋頃目途	報告書とりまとめ

環境基本計画の審議過程において超長期ビジョンの策定が触れられたことを踏まえ、検討結果は、中央環境審議会に報告する。